

# タカギ 混合栓施工説明書

takagi

蛇口一体型浄水器 みず工房 クリーン 2ホール水栓

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水管工事は専門業者でお願い致します。

## 安全上のご注意

### 製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

#### 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。
- 注意** この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- ⊘記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
- ⓘ記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

### 警告

- ・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。・修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
- ・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

### やけどをするおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

### やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。



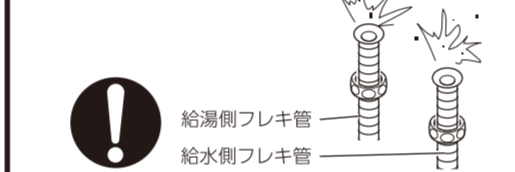
### 故障の原因になります

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温で使用するとう浄水カートリッジが破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。



### 水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。



## 部品の確認

品質表示/節湯C1タグ：施工完了後、本体に取り付けておいてください。

本体部

浄水器部

付属品

- パッキン
- パイプ用ニップルと給水側・給湯側フレキ管の接続には袋内付属のパッキンを必ず使用してください。

付属品

- 六角レンチ
- ネジ

その他

- 取扱説明書
- 施工説明書

吊り下げ袋：施工完了後、お客様の目につくよう、水栓の近くに置いてください。※吊り下げ袋は仕様により付属しない場合があります。

ベースパッキン

準備する部品

- フレキ管 (例)
- 止水栓 (例)

必要な工具類

- モンキーレンチ

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 注意

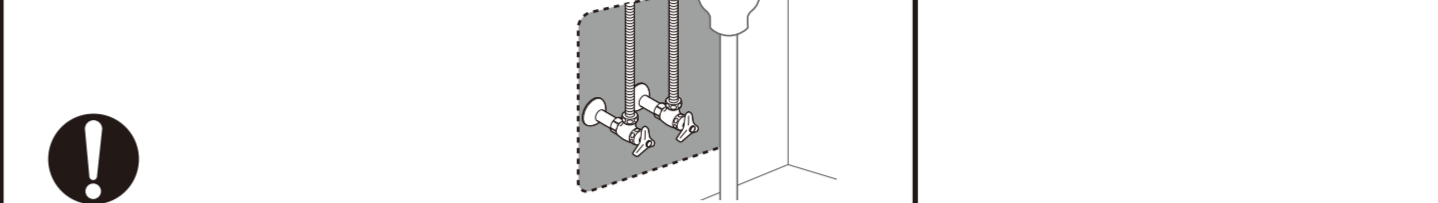
### 水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

製品を落としたり、強い力や衝撃を与えたりしないでください。

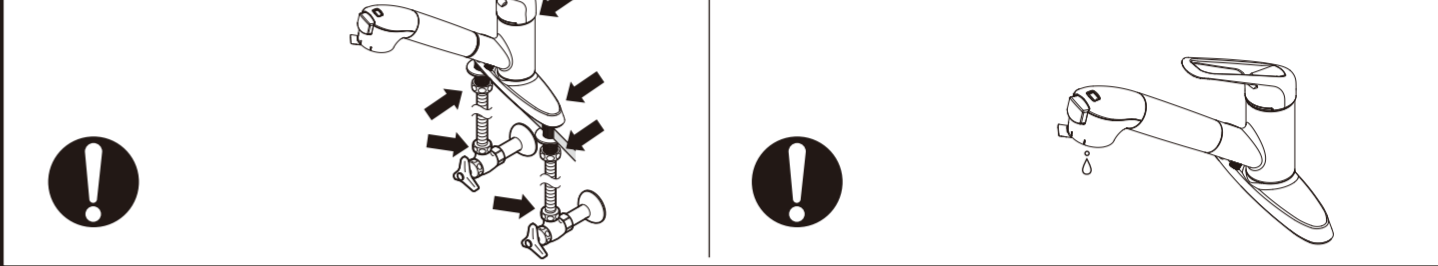
高水圧地区では減圧弁を設置してください。

水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓が傾いたり、水漏れが発生するおそれがあります。

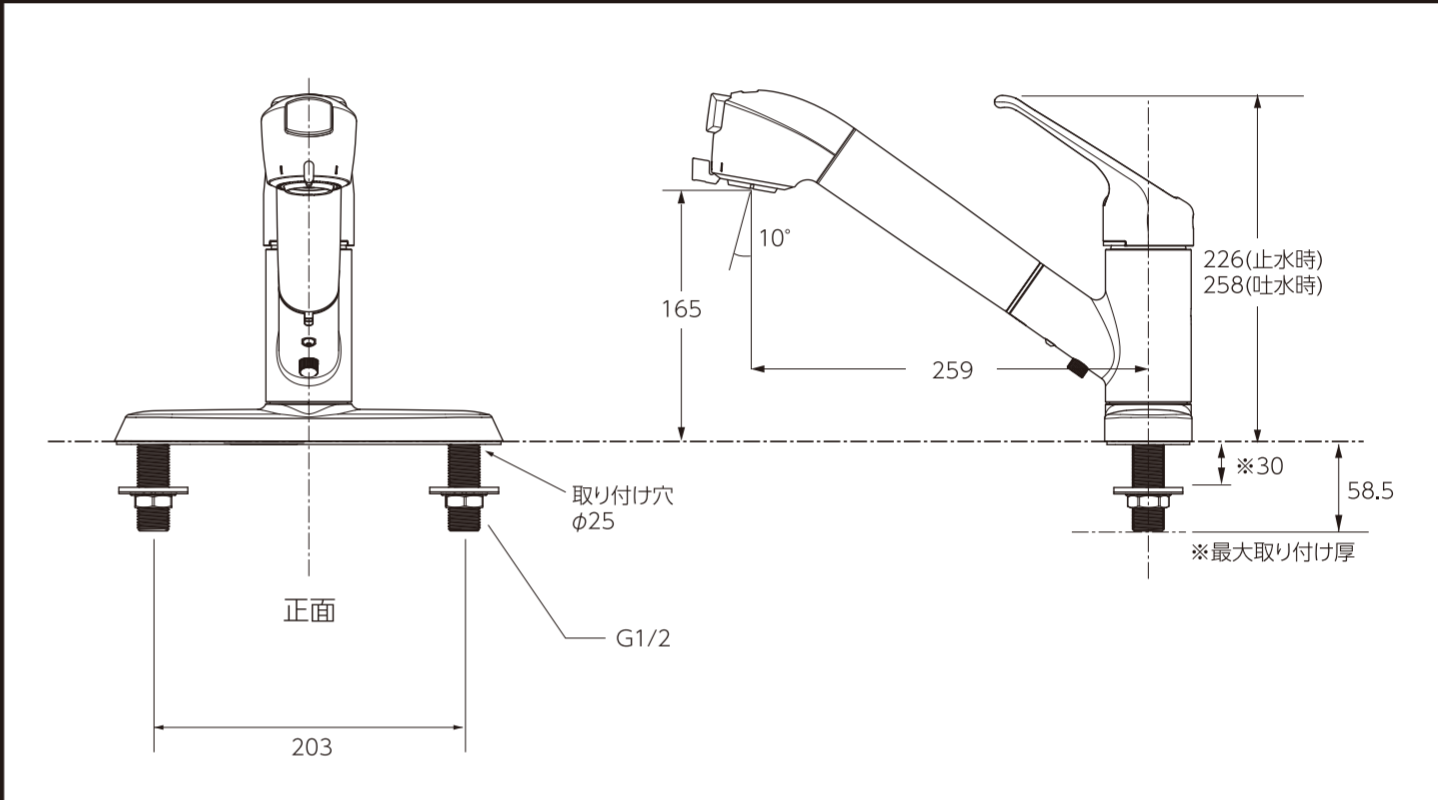
定期的な止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、水量調節や万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行えない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓(点検口)の設置をおすすめします。



施工完了後は、水栓本体及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。



## 外観寸法図



## 設置条件

- 水圧条件
  - 給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くならないように設定してください。
  - 給水・給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- ※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。
- ※水道水の飲用基準に合格した水をお使いください。温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

## 1. 施工方法

※新設の場合は「1-②パイプ用ニップルから固定ナット、固定座金、固定パッキンを取りはずす」に進んでください。

### 1-①水道配管の止水栓を閉める

配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜きを行います。

- キー式
- ハンドル式
- マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス
- シンク下の止水栓

### 1-②パイプ用ニップルから固定ナット、固定座金、固定パッキンを取りはずす

### 1-③ベースパッキンを本体に取り付け、取付穴にパイプ用ニップルを差し込む

ベースパッキンが本体部から、はみでないように調整しながら取付穴に差し込んでください。

### 1-④本体部の取り付け

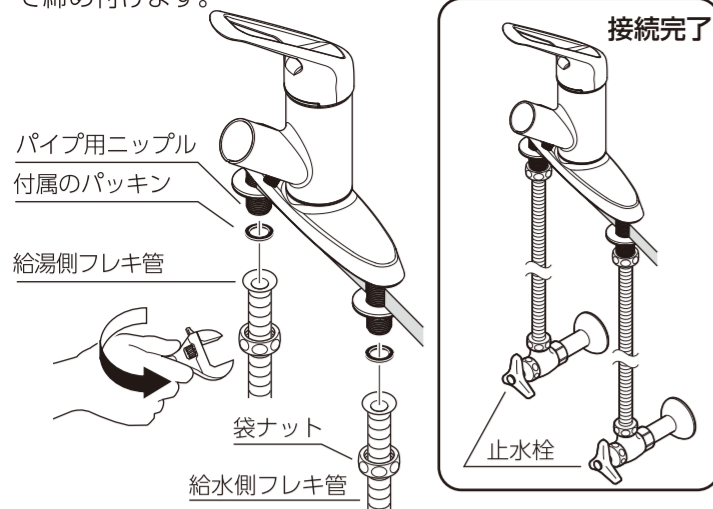
パイプ用ニップルに、固定パッキン、固定座金を通し、固定ナットを締め込みます。

※固定パッキン、固定座金、固定ナットの順番を間違えないようにしてください。

●天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

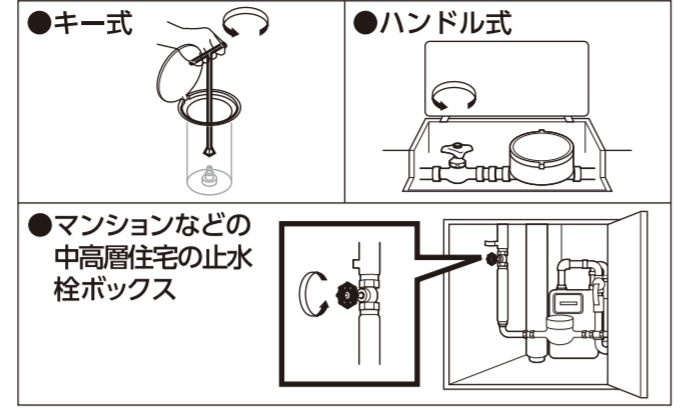
### 1-⑤給水側・給湯側フレキ管を接続する

給水側・給湯側フレキ管をパイプ用ニップルに押し当て、袋ナットで締め付けます。



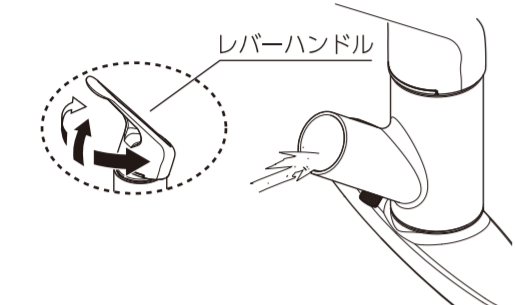
### 1-⑥水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓（湯側・水側）を開けます。



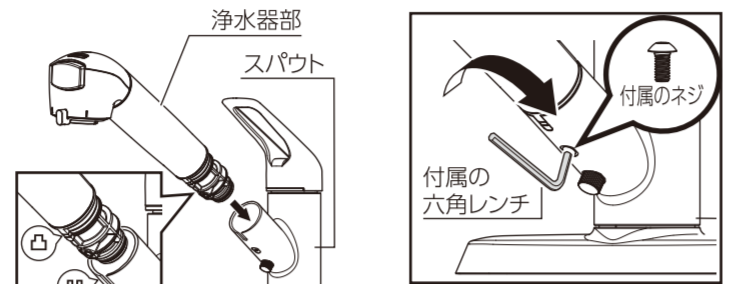
### 1-⑦浄水器部を取り付ける前に給水側・給湯側フレキ管内のゴミなどを洗い流す

レバーハンドルを上げて左右に振り、給水側・給湯側フレキ管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。



**注意** 吐水が飛び散らないよう注意してください。

### 1-⑧浄水器部を取り付ける



浄水器部の凸とスパウトの凹が合うように差し込み、付属の六角レンチで付属のネジを十分に締め込みます。

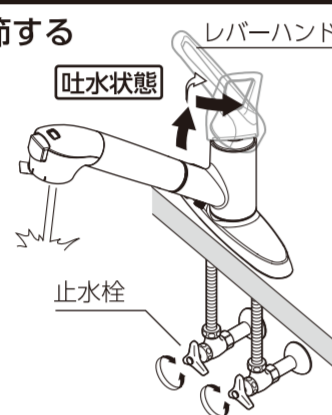
※付属のネジのネジ穴をなめないよう気をつけてください。  
※付属の六角レンチは袋に戻し、取扱説明書と併せて保管してください。  
※付属の六角レンチで固定する際、本体部などに当たらないよう気をつけてください。

**注意** 水漏れの原因となります  
浄水器部をスパウトに取り付ける際は、ネジをしっかり締め込んでください。

## 2.取り付けが終わったら

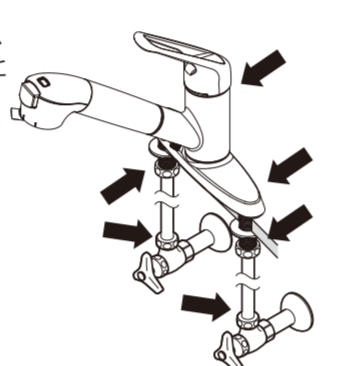
### 2-①止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



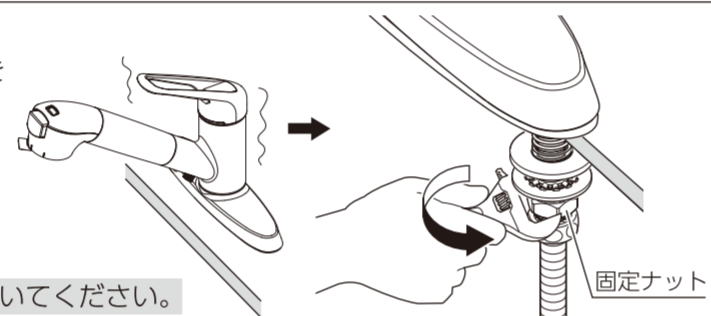
### 2-②各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は、配管接続部、水栓から水漏れのないことを確認してください。



### 2-③本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部がガタつきがある場合は、固定ナットを回し、締め込んでください。



施工完了後、品質表示/節湯C1タグは本体に取り付けておいてください。

### 免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

1. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
2. 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
3. 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
4. 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
5. 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて 破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水

通話料無 0120-328-413 24時間電話受付（年中無休）

株式会社 タカギ  
http://www.takagi.co.jp/